

取扱説明書（安全編）

取扱説明書（安全編）は除振装置を安全にご使用いただき、人体への危害や財産の損害を未然に防止するための禁止事項、注意事項について記載されています。ご使用になる前に必ず本取扱説明書をお読みください。

- ・ 除振装置の設置調整については各除振装置の取扱説明書をご覧ください。
- ・ 本取扱説明書は、なくさずに保管してください。

取扱説明書では除振装置を安全にお使いいただくため、以下のような絵表示を用いています。図の意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性や物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の例



この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止行為（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



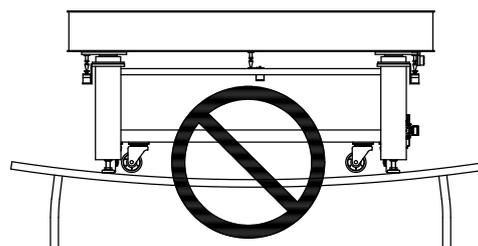
この記号は行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中には具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いて下さい）が描かれています。



敬告

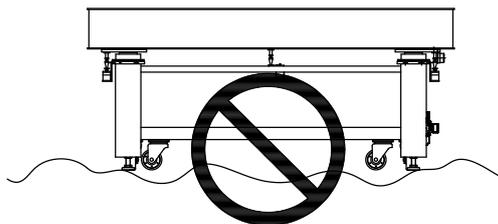
板張りの床などの不安定で柔軟な場所に、除振装置を設置しないでください。

除振装置が傾いたり、倒れたりすることで、搭載物の破損やケガの原因となります。



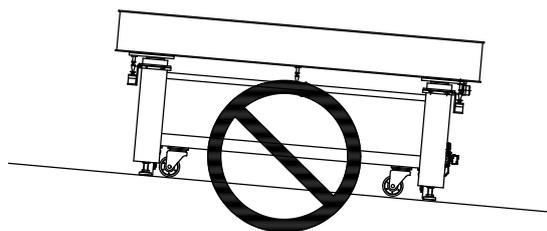
凹凸のある床などには除振装置を設置しないでください。

除振装置が傾いたり、倒れたりすることで、搭載物の破損やケガの原因となります。



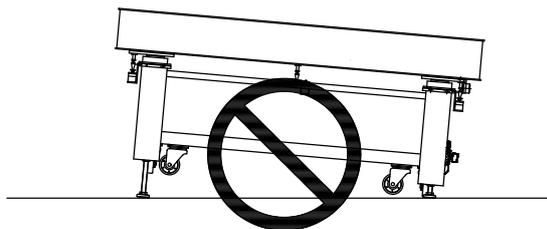
傾斜した床には除振装置を設置しないでください。

除振装置が倒れたり、滑ったりすることで、搭載物の破損やケガの原因となります。



圧縮空気を供給する前に除振装置のアジャスターフットを調整して、搭載盤の水平（勾配 1/100 程度）を出してください。

水平が出ていない状態で使用すると傾いたり、倒れたりすることで、搭載物の破損やケガの原因となります。



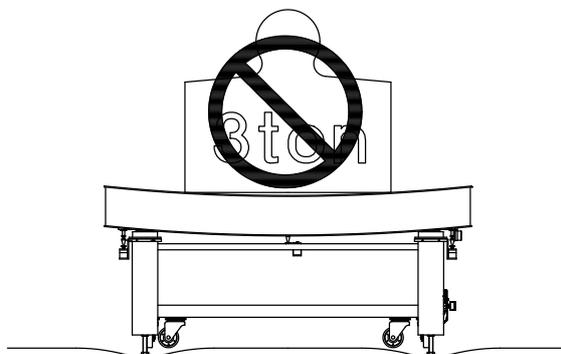


敬告

3

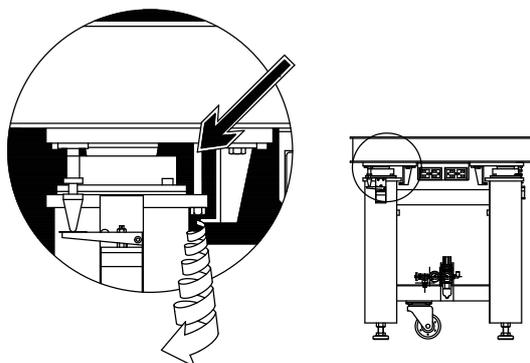
搭載機器の質量は除振装置の搭載可能質量を超えないようにしてください。

空気ばねやサージタンクが必要以上に高圧になり、ばねやタンクの破裂、高圧ガスの吹き出しなどによるケガの原因となります。



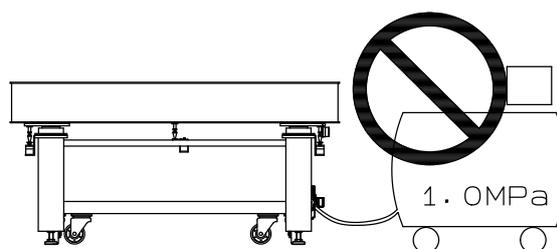
輸送用のボルトや金具を装着した状態で、圧縮空気を供給しないでください。

空気ばねやサージタンクが必要以上に高圧になり、ばねやタンクの破裂、高圧ガスの吹き出しなどによるケガの原因となります。



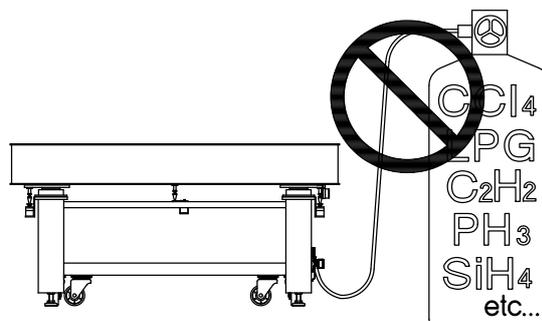
供給する圧縮空気は0.7MPa (7.1kgf/cm²)を超えないようにしてください。

空気ばねやサージタンクが必要以上に高圧になり、ばねやタンクの破裂、高圧ガスの吹き出しなどによるケガの原因となります。



除振装置に供給するエアースourceは圧縮空気または窒素ガスを使用してください。

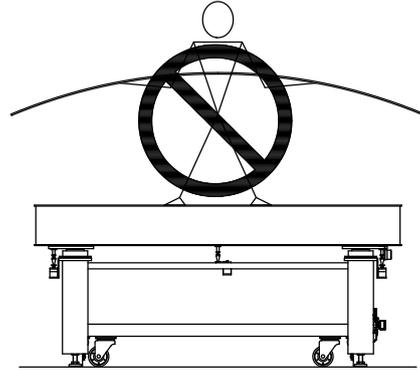
有害なガスの使用は作業者の人命や健康に重度の危険を及ぼすことが考えられます。
(窒素ガスを使用する場合は室内の換気を十分に行なってください。)





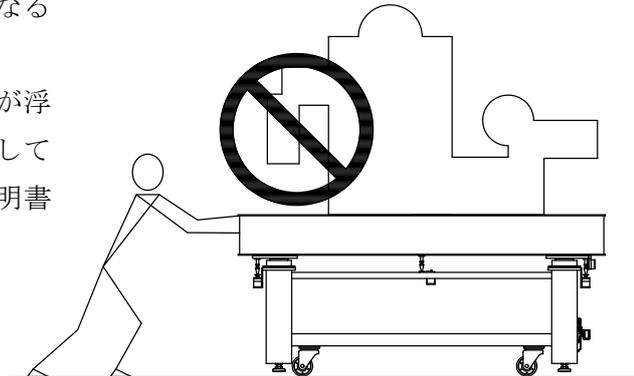
敬告

除振装置の上に乗らないでください。転倒や落下などによるケガの原因となります。



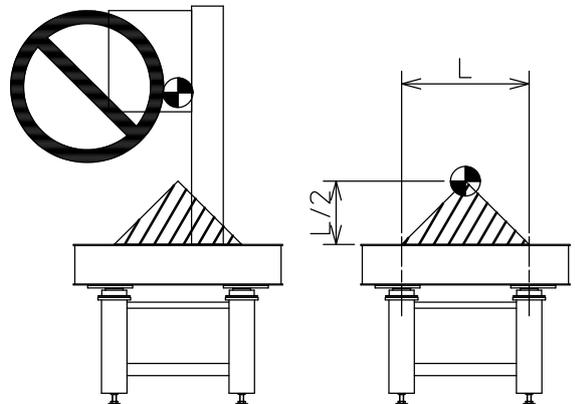
機器を搭載したままで除振装置を移動させないでください。搭載機器の落下や接触などによる搭載物の破損やケガの原因となることがあります。

(除振装置のエアを抜いて、搭載盤が浮上していないことを確認してから移設してください。移設方法は除振装置の取扱説明書をご覧ください。)



空気ばね間が短い方の水平距離をLとしたとき、搭載機器の重心高さは $L/2$ を超えないようにしてください。

重心の位置が高すぎると、搭載機器が大きく傾斜し、落下や接触などによる搭載物の破損やケガの原因となることがあります。



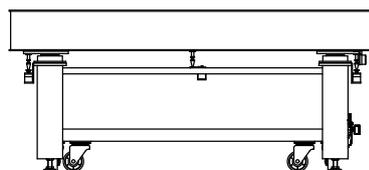


注意

5

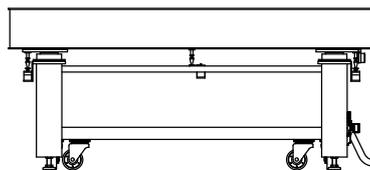
除振装置は精密機器です。分解したり、不必要な調整はしないでください。

除振性能が低下するばかりでなく、故障の原因となることがあります。



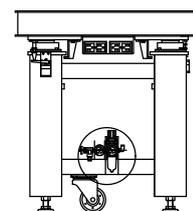
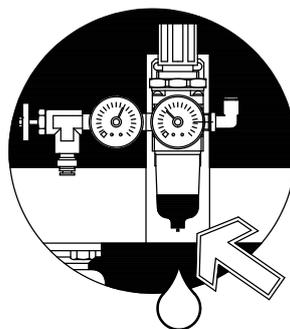
水分を多く含む圧縮空気は使用しないでください。故障の原因となることがあります。

(清浄で乾燥した圧縮空気をご使用ください。)

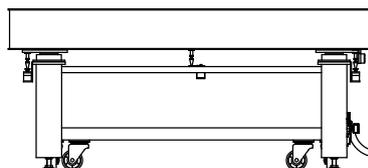


供給エアに水分が含まれている場合、フィルター付レギュレータに水が溜るので、定期的（2週間に1回程度）にフィルターの下のバルブを押して水を抜いてください。

水が溜ると、自動レベルセンサーや空気ばねなどに水が入り、故障の原因となります。



油分を含む圧縮空気は使用しないでください。自動レベルセンサーや空気ばねなどに油が入り、故障の原因となります。

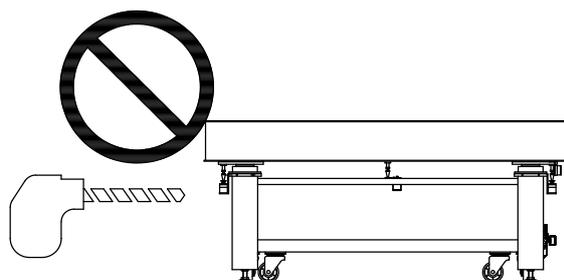


6

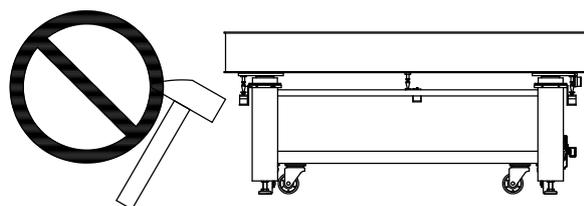
⚠ 注意

タップなどの追加加工は行なわないでください。空気漏れなどの故障の原因となる場合があります。

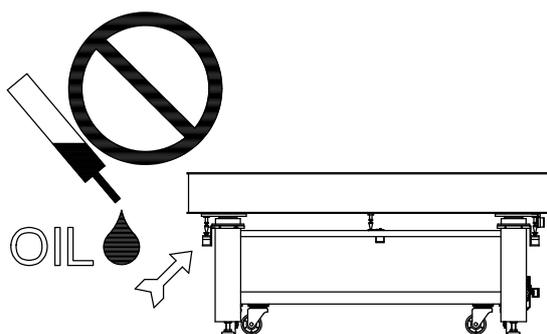
(追加加工が必要な場合は必ず弊社までご相談下さい。)



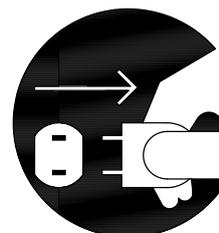
自動レベルセンサーは精密部品ですので、衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



自動レベルセンサーに油類を注入しないでください。故障の原因となることがあります。



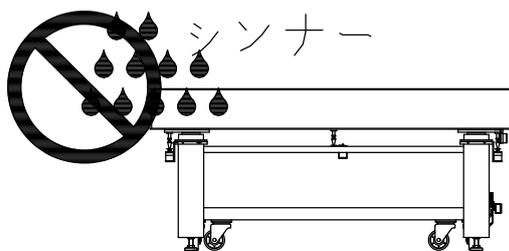
電源を使用しないときはプラグをコンセントから抜いてください。



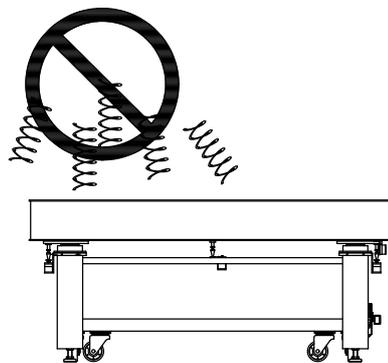


注意

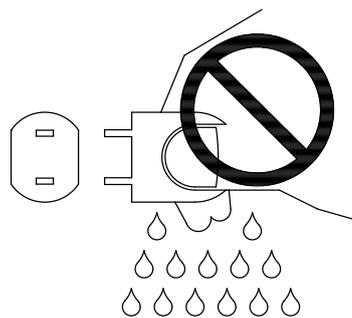
油類、腐食剤などを除振装置本体（特に空気ばねなどゴムを使用している箇所）に付着させないでください。故障の原因となることがあります。



金属片、キリコなどを除振装置本体（特に空気ばねなどゴムを使用している箇所）に付着させないでください。故障の原因となることがあります。

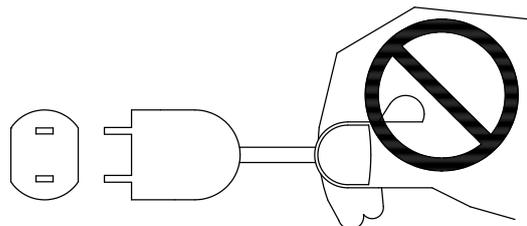


濡れた手で差し込みプラグを引き抜かないでください。感電の恐れがあります。



差し込みプラグを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。

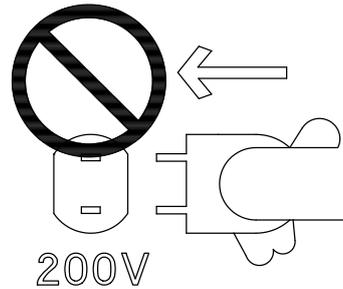
電源コードを引張るとコードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。





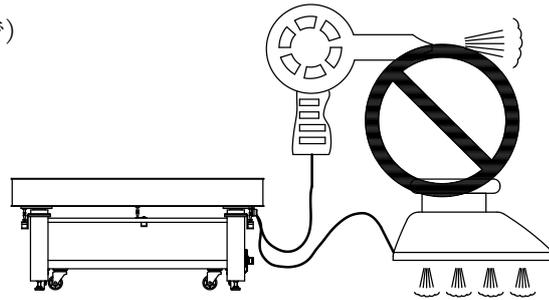
敬告

AC100V以外の電源電圧は使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。



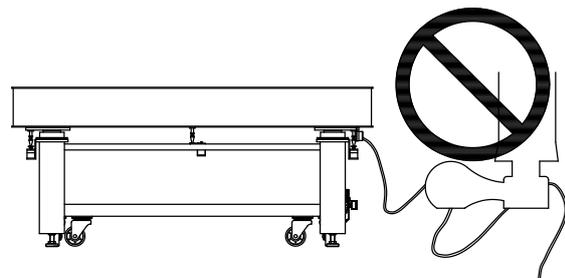
除振装置の取扱説明書に、付属のコンセントの定格値（例：125V、1500Wまで）が記載されています。

定格値を超えての使用は火災や感電の原因となることがあります。



電源コードを床の上に這わせる場合はモールなどで被ってください。

むき出しのまま使用すると、踏みつけたりすることによりコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



明立精機株式会社

住所 〒221-0031
 横浜市神奈川区新浦島町1-1-25
 TEL 045-453-5731
 FAX 045-453-3381
 E-mail info@meiritz.jp
 URL http://www.meiritz.jp